

夏を楽しむ。日本には四季があり、それぞれの季節を楽しんで暮らす生活の知恵がある。いかに暑くてもまた寒くても、おおらかに受容する心を以って、自然とともに生きてきた歴史というか、文化があった。大げさに言えば、地球との共存とでもいうべきであろうか。

近年は、季節感もなくなり、移ろう季節への哀愁や、湧き上がるような喜びを感じることは少なくなった。自然とともに生きるというより、自然を克服して生きようとするおごりの心が、人間の感性をも奪っているようにも思えるのだ。

今年の夏も、とても暑い。エアコンなしでは到底過ごせないと思えるような暑さが続く。窓を開け放ち、外気を入れてはみるが、ムツとした熱風が入り込んでくるだけだ。

かつては屋敷の周囲には緑も多く、全部屋がオープンになる家の構造であったがために、窓を開け放てば涼しげな風が部屋中を渡って行った。簾や、うちわ、打ち水に、風鈴、湧き上がる井戸水の音さえも見事に涼を感じさせてくれた。まさに五感で夏を感じ、五感で夏を楽しんでいたのだ。

井戸水で冷やされた自然の冷たさや、緑を渡ってくる自然の匂いのする風は、優しい笑顔をも与えてくれた。本物を知ることは、未来の人間の本来あるべき姿に立ち返る機縁なるのかもしれない。

いよいよ御遠忌に向けての準備が本格的になってまいりました。

開かれた寺となることを願いつつ、さまざまに試みてまいりましたが、この御遠忌を機に更なる歩みを、皆様とともに進めていけたらと思っています。ご意見をいただければと思っています。

御遠忌・落慶法要テーマが決まる。

開かれた寺として



8月の勉強会はお休みとなります。

念仏の生まれる生活を共に

このテーマ設定に当たっては、多くの方のご意見をお伺いしながら、決定したテーマです。

日常生活の中での「真実の確かめ」の心を大切にしながら、次世代へ確かなものとしての「お念仏」を受け渡していくことが、私たちの今に課せられた大切な役目でもあり、使命ともいえる

すべてが当たり前
なく生きていけると思っ
てはいはるが、それでも
の世の中で、何不自由
なく生きていけると思っ

願い

不平不満に明け暮れしてしまっている私たちの現実に、厳しく問いかけられてくるお念仏の声を共に聴いていこうではありませんか。

幸せが色あせることのない幸せにできることを、心から願い、皆様とともに歩み続けていきたいと思っています次第です。

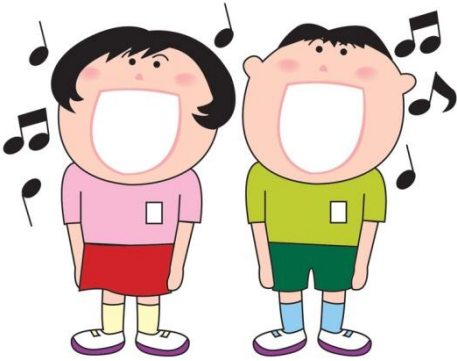
合掌



秋季永代経

平成24年9月22日(土) 9時30分より
午前・午後 お斎あります。

お盆が過ぎれば、一気に秋の気配が漂い始めます。
永代経では心静かにご先祖を忍び、願われて今ある私のありがたさに思いを致し、生きること、生きていくことの意味を自らが問い、確かめていく一日であることを願っています。



稚児募集開始

平成二十四年九月一日より募集開始。申し込み手順は次の通り

- 1、まずは電話か、直接住職に参加のご意志と、参加稚児人数をお伝えください。
 - 2、参加人数分の申込用紙を直接、あるいは郵送にてお届けいたしますので、必要事項をご記入の上、参加費用を添えて、何らかの方法で光受寺までお届けください。
 - 3、後日、当日の集合場所等の詳細についての案内文をお届けします。
- 参加費用は・・・稚児一名につき6千円(衣装・記念品等)です。

光受寺では、御遠忌・落慶法要に合わせて讃歌を歌

う合唱団を結成いたしたいと思えます。

皆様のご家庭にも一冊はある正信偈の赤本をご覧
いただきますと、七十一ページに「同朋奉賛式 第一」
という部分があります。

七十二〜八十一には衆會や、みほとけは等の歌が楽
譜付きで載っていると思えますが、そのほかにも数多
くの歌が、本山の御遠忌を機に創られています。

それらの中から、数曲を選び練習して、光受寺の御
遠忌当日に発表していただくものです。

参加資格は何もございません。

男女、年齢何も関係ございませんが、月に一、二度
練習日を設けたいと思いますのでお越しいただけ
ます。

参加していただける方は、**九月の第二日曜日、午後
三時に光受寺本堂にご参加ください。**

お誘いするつもりが、ごさいましたら快くお引き受け
いただきますようお願いいたします。

ご報告

墨俣町仏教会「お経を習いましょう」



7月23(月)～25日(水)

23日・・・光受寺・西来寺・蓮泉寺

25日・・・延命寺(子供大会)

上記日程恒例の行事である「お経を習いましょう」を行った。

最後の子供大会では、かき氷、紙芝居、ゲーム
などを行い、学年を超えて交流を図った。

無心な子供たちの姿に「ほとけの子」を
見ることができた。

